

事務事業名	須屋浄化センター耐震診断及び再構築計画策定事業(下水道事業団委託)				☐ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連		
政策名	総合計画 02	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	水道局	所属課	上下水道課	
施策名	08	水環境の保全			所属係	管理工務班	課長名	森 章礼	
基本事業名	25	水質の浄化			担当者名	村上浩昭	電話番号 (内線)	096-248-1232 1176	
予算科目	会計 50	款 02	項 01	目 02	事業	法令根拠 下水道法			
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☒ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 年度 ~) ↳ (18 年度 ~ 19 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)				
(事業の概要) 須屋浄化センターの耐震診断及び再構築計画に係る日本下水道事業団への委託事業 (業務の内容) ・下水道事業団の委託要請から施行運営、竣工までの手続き及び管理					総投入量	事業費	国庫支出金	15,600	
						内訳	都道府県支出金	14,040	
							地方債		
							その他	1,560	
							一般財源		
							事業費計 (A)	31,200	
人件費	正規職員従事人数	8							
	延べ業務時間	800							
	人件費計 (B)	3,176							
					トータルコスト(A)+(B)				34,376

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

耐震診断及び再構築の対象施設の実態・状況の調査
耐震診断及び再構築の対象施設の年次別の改築計画策定(5ヶ年計画)

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等

耐震診断の対象施設
機能低下した施設
耐用年数の経過した施設

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

対象施設を基準に合致した施設に更新する

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

水質が向上する

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 計画策定業務の委託	千円
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 耐震診断対象施設数	箇所
イ 機能低下した施設数	箇所
ウ 耐用年数が経過した施設数	箇所

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 処理能力を維持し、停止することなく運転する(出来た日数)	日
イ	
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 市内河川のBOD(測定地点)基準達成率 %	%
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			5,500	10,100			
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円			4,950	9,090			
			その他	千円			550				
			一般財源	千円				1,010			
			事業費計 (A)	千円	0	0	11,000	20,200	0	0	0
	人件費		正規職員従事人数	人			4	4			
			延べ業務時間	時間			500	300			
			人件費計 (B)	千円	0	0	1,985	1,191	0	0	0
			トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	12,985	21,391	0	0	0
活動指標	アイウ	千円			11,000	20,200					
対象指標	アイウ	箇所			15	15					
		箇所			15	15					
		箇所			15	15					
成果指標	アイウ	日			365	365					
上位成果指標	アイウ	%			100	100					

事務事業名	須屋浄化センター耐震診断及び再構築計画策定事業(下水道事業団委託)	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	-----------------------------------	-----	-----	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 ◎昭和56年に供用開始された当浄化センターの各施設が耐用年数の経過と共に所々で老朽化及び機能低下が見られるようになり、その問題点を改善・解消するため、平成14年に旧西合志町が年次毎の改築更新計画(第1次5ヶ年計画)を策定したが、今回、第2次5ヶ年計画として改築更新計画

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 ◎事業を開始した5年前は旧西合志町で自ら計画策定を行ったが、今回は、専門的な知識、技術、豊富な経験を持つ日本下水道事業団にいたくする。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 ◎特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 ◎改築更新計画に沿って改築工事が実施されることにより、汚水処理が円滑に行われ、市民の生活環境が保全され、又放流水質が安定する。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 ◎改築更新計画に沿って改築工事が実施されることにより、汚水処理が円滑に行われ、市民の生活環境の保全及び公共水域の水質保全につながり、その応分の使用料も賦課されているので、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 ◎対象は、施設の耐震診断と機能が低下した施設及び対応年数が経過した施設であり、意図もこの施設を基準に合致するよう更新することであるので、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 ◎対象施設を更新することにより、処理能力を維持し、停止することなく運転できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 ◎本事業を廃止すればこの汚水処理施設は老朽化し汚水処理が円滑に出来ないので、事業の廃止は、考えられない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 ◎下水道施設は、大規模になる設備が多く、専門的なものになるため、その知識や技術が豊富な下水道事業団にすべて委託している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ◎同上
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ◎受益者より使用料を応分負担して頂いているので、適切である。

合志市

事務事業名	須屋浄化センター耐震診断及び再構築計画策定事業(下水道事業団委託)	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	-----------------------------------	-----	-----	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 <table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・市全体の下水道の見直しを見据えたところでの効率的な改築計画を立てる必要がある。
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり											
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善) ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) この事業の実施には専門的な知識が必要となるため、委託業務で行っている。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr> <td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr> <tr> <td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			×																		
	低下		×	×																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

改築工事は多額の費用がかかるので、それぞれの処理場(処理区)だけの改築更新計画を考えるのではなく、市全体の下水道の見直しを見据えたところで、年次毎の効率的な改築更新計画を立てる。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由
① 目的妥当性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり											
② 有効性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり											
③ 効率性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり											
④ 公平性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり											

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善) ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr> <tr> <td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

(6) その他2次評価会議で指摘された事項